

近江八幡市 人権に関する市民意識調査（案）（差し替え）

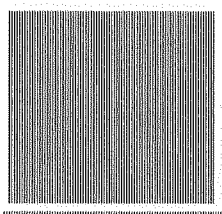
市民の皆様には、日頃より市政に対するご意見とご協力をいただきありがとうございます。
さて、近江八幡市では、誰もが明るく住みよい、お互いが大切にされるまちづくりに向けて、市民や関係団体の皆様と協働し、連携を図りながらさまざまな取組を進めているところです。
今回、本市における人権意識に関する現状を調査するとともに、今後の施策方針の参考とさせていただきますため、市民の皆様にアンケート調査を実施することとなりました。
お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2025（令和7）年8月

近江八幡市長 小西 理

【ご記入にあたってのお願い】

1. 回答は、2025（令和7）年8月1日現在でお答えください。
2. 対象者は、18歳以上の市民の方から3,000名を無作為に選びました。
3. 必ず封筒のあて名ご本人が回答してください。
4. 該当する番号または選択肢に☑を、太枠の回答欄にハッキリとご記入ください。「その他」を選んだ場合は具体的にご記入ください。無記名方式ですので、あなた様のお名前や回答内容を公表することはありません。
5. 記入済みの調査票は、9月13日（金曜日）までに、同封の返信用封筒（切手不要）に入れポストに投函してください。



WEBからもご回答いただけます！
WEB 回答いただいた場合、紙での回答は不要です。

質問数が多くお手数をおかけし、申し訳ありませんが、ゆっくりご回答ください。



【お問い合わせ先】

近江八幡市 市民部 人権・市民生活課
〒523-8501 近江八幡市桜宮町 236
電話 0748-36-5881
FAX 0748-36-5882
Mail 011402@city.omihachiman.lg.jp

回答欄											
	その他										

障がいのある人の人権について

問15 あなたは、障がいのある人に関する次のア～クのことについて、どう思いますか。
1～4の中から、それぞれにあてはまる番号を回答欄に記入してください。

	問題ではない	どちらかといえば問題ではない	どちらかといえば問題だと思う	問題だと思う	回答欄
ア. 障がいのある人についての理解や認識が十分でないこと	1	2	3	4	
イ. 働く場所や機会が少なく、働く場での待遇が十分でないこと	1	2	3	4	
ウ. スポーツやレクリエーション、文化活動、地域活動等に気軽に参加できないこと	1	2	3	4	
エ. 財産管理面などでの権利侵害や悪質商法、特殊詐欺などの被害が多いこと	1	2	3	4	
オ. 病院や施設、家庭において劣悪な処遇や拘束、虐待などがあること	1	2	3	4	
カ. 道路の段差など環境や建物、製品等が障がいのある人に使いやすくつくられていないこと	1	2	3	4	
キ. 必要な情報を障がいのある人に分かりやすく伝える配慮が足りないこと	1	2	3	4	
ク. 差別的な言動をされること	1	2	3	4	

問16 障がいのある人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。
あてはまる番号をすべて回答欄に記入してください。

1. 障がいのある人のための各種相談体制を充実する
2. 障がいのある人の人権を守るための啓発活動を推進する
3. 関係機関の連携による虐待の未然防止、早期発見、早期対応を徹底する
4. 障がいのある人の就職機会を確保する
5. 地域での障がいのある人の見守り体制を充実させる
6. 障がいのある人が、安心して外出できるよう、建物の設備や公共交通機関を改善する

7. 成年後見制度など障がいのある人の権利と財産を守るための制度の利用を促進する
8. 障がいのある人とない人との交流を促進する
9. スポーツやレクリエーション、文化活動、地域活動等に参加しやすくする
10. 特に必要なことはない
11. わからない
12. その他（具体的に：回答欄に記入してください）

回答欄													
	その他												

について

問17 あなたは、部落差別（同和問題）をいつ頃知りましたか。
次の1～8の中から、あてはまる番号を回答欄に記入してください。

1. 6歳未満（小学校入学前）	5. 18歳～22歳以下	回答欄
2. 6歳～12歳以下（小学校時代）	6. 23歳以上	
3. 12歳～15歳以下（中学校時代）	7. 同和問題を知らない	
4. 15歳～18歳以下	8. 覚えていない	

問18 部落差別（同和問題）について、どのようにして知りましたか。
次の1～10の中から、あてはまる番号を回答欄に記入してください。

1. 家族・親戚から	5. 職場の同僚などから	9. 覚えていない
2. 友だちから	6. 講演会・研修会などで	10. その他
3. 近所の人から	7. 行政の広報紙で	（具体的に：回答欄に記入）
4. 学校の授業で	8. テレビ・新聞・本などで	

回答欄	その他

ウ. 患者のプライバシーが十分保護されないこと	1	2	3	4	
エ. 医療に対する情報提供が十分でないこと	1	2	3	4	
オ. 医療に対する相談体制が十分でないこと	1	2	3	4	

問32 あなたは、HIV 感染者、新型コロナウイルス感染者、ハンセン病回復者やその家族に関する以下のことがらについてどう思いますか。ア～クのそれぞれについて、あてはまる番号を回答欄に記入してください。

1. 問題だと思う
2. 問題ではない

	HIV 感染者	新型コロナ ウイルス感染者	ハンセン病※ 回復者
	回答欄	回答欄	回答欄
ア. 病院で治療・入院を拒否されること			
イ. 家族や親戚からつきあいを拒絶されること			
ウ. 結婚拒否や離婚をせまられること			
エ. 住宅を容易に借りることができないこと			
オ. 宿泊や施設の利用を拒まれること			
カ. 就職や仕事の内容、待遇で不利な扱いを受けること			
キ. 本人に無断で感染を他人に知らせること			
ク. じろじろ見たり、避けたりすること			

※ハンセン病：「らい菌」と呼ばれる細菌によって引き起こされ長期間の潜伏期間を経て症状が現れる。放置すると神経障害や身体の変形を伴う重篤な状態へと進行することがあるが、伝染性は高くない。

人権問題の啓発 について

問33 あなたは、これまで、学校・職場・地域などで、次にあげる人権学習を受けたことがありますか。ア～オのそれぞれについて、あてはまる箇所に☑を記入してください。